

# 三重県内の道路整備などパネルを展示！

## ～G7三重・伊勢志摩交通大臣会合の開催に合わせて～

### 1. 概要

志摩市でのG7三重・伊勢志摩交通大臣会合の開催(6月16日(金)から18日(日))に合せて、パネル展示を実施します。

### 2. 開催期間

令和5年6月13日(火) から 18日(日) 24時間入場可能

### 3. 開催場所

東名阪自動車道 御在所サービスエリア(下り線) メイン商業施設内  
(四日市市山之色町字乱取口1491-2)

### 4. 展示内容

- ・道路事業によるカーボンニュートラルの取組
- ・県内の道路交通ネットワーク(東海環状自動車道、国道23号中勢バイパス)
- ・その他

5. 配布先 三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ

6. 解禁 指定なし

7. 問合せ先 国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所

副所長 毛利 勇(もうり いさむ)

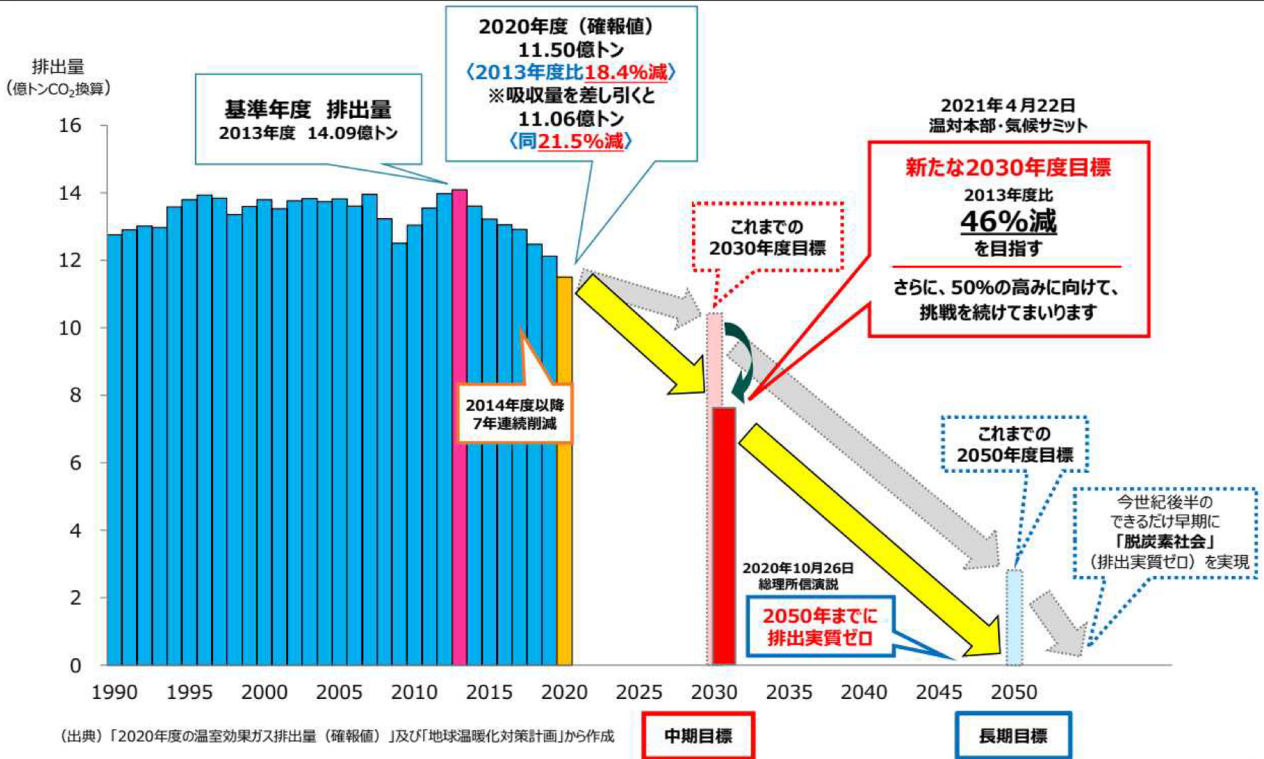
計画課長 増田 恵也(ますだ けいや)

電話 059-229-2220

ホームページアドレス <https://www.cbr.mlit.go.jp/mie/>

# 道路事業によるカーボンニュートラルの取組

- 我が国の温暖化ガスの総排出量は、2020年度で11.5億トン（2013年度比で18.4%減）
- 2030年度の目標として、2013年度比46%減を目指す。2050年までに排出実質ゼロ。



- 次世代自動車が普及しても、効率的な移動を確保するため、道路ネットワーク整備や渋滞対策等の道路交通流対策を推進し、道路から社会に働きかけて交通を変化。

## 交通流対策等による脱炭素化

### ○道路ネットワークの構築・機能強化

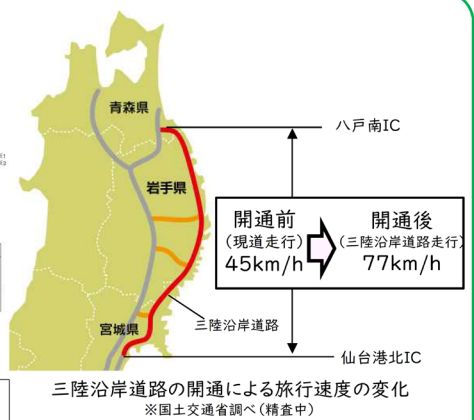
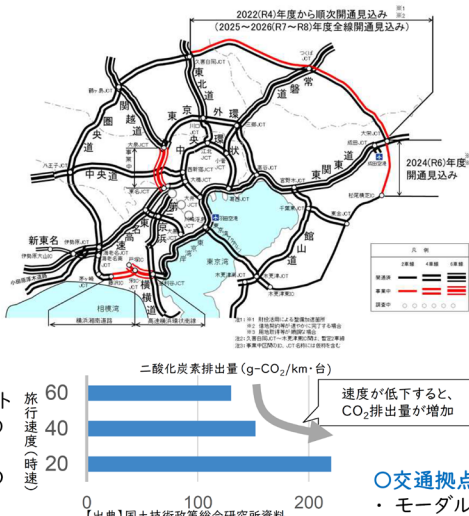
- ・ 三大都市圏環状道路など、渋滞解消や生産性を高める道路交通ネットワークの構築を推進
- ・ 地方部においても、高規格道路整備や四車線化等により、旅行速度を向上させ、CO<sub>2</sub>削減を推進

### ○社会に働きかけて交通を変化

- ・ 効率的な移動の確保に向けて、料金施策や交通需要マネジメント(TDM)などの導入について検討

### ○渋滞対策の推進

- ・ データ駆動型マネジメントにより、ピンポイント渋滞対策など、ソフト・ハードを含めた道路のサービスレベル向上の取組を推進
- ・ 開かずの踏切対策における立体交差などの対策による交通の円滑化の推進



### ○交通拠点の機能強化

- ・ モーダルコネクトの強化やBRTなど公共交通システムの導入促進

### ○路上工事の縮減

- ・ 共同施工や共同溝の整備による路上工事の縮減



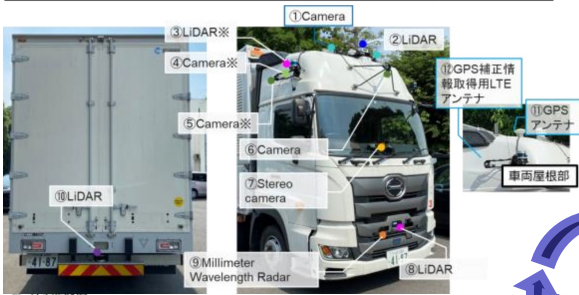
令和3年度の路上工事時間は、平成14年度に対して、約57%の縮減



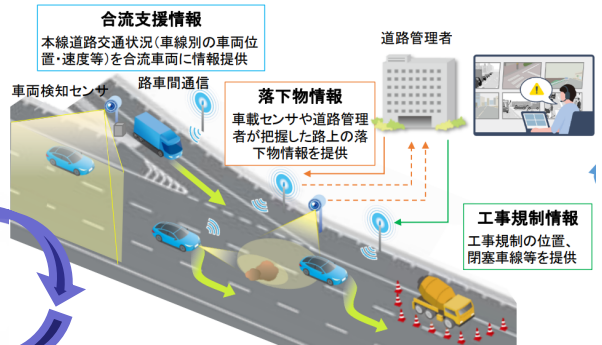
## 自動運転車の開発・実用化

- 「自動運転車両の開発」、「自動運転の導入支援」及び「道路インフラによる支援」に連携して取り組み、地域・関係者と一体となって自動運転による移動・物流サービスを実現
- 自動運転車の運行記録(経路や操作情報等)を収集し、自動運転車や路車協調システムの技術向上へ活用

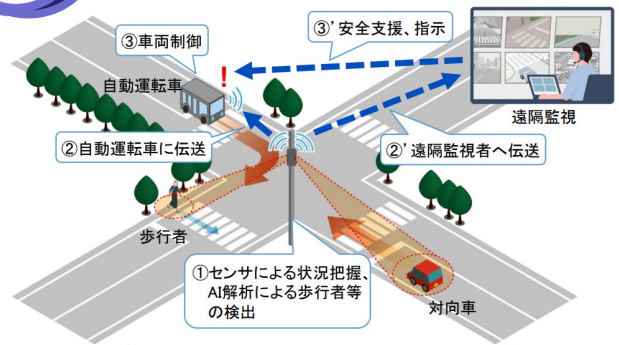
### 自動運転車両の開発



### 道路インフラによる支援 (路車協調システム)



### 自動運転の導入支援 (自動運転実証事業)



## 物流DXの推進

- 労働力不足や非接触・非対面型の物流に資する自動化・機械化の取組の推進

## 地域交通リ・デザインやMaaSの推進

- 交通DX等により、利便性・持続可能性・生産性が向上するよう地域交通リ・デザイン(再構築)し、地域モビリティを確保。
- 地域交通において、自動運転やMaaSなど新技術の導入を推進

## その他交通モードとの連携

- 新しい技術に対して地域や利用者の理解促進などの取り組みは、モードに共通するものであり、好取組事例、課題などを共有



事業概要

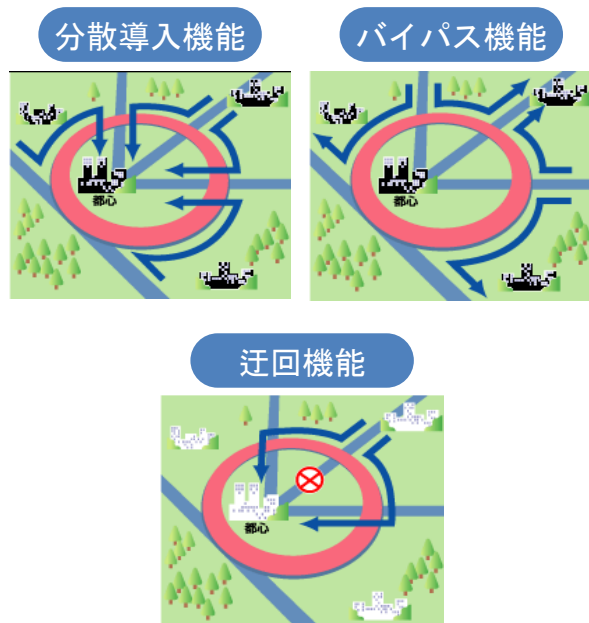
# もうすぐつながる、中京圏の環状道路！ ～東海環状自動車道～



## 中京圏の環状道路



## 環状道路の役割



凡例  
C3 東海環状自動車道(開通区間)    C2 名古屋第二環状自動車道    主な国道  
C3 東海環状自動車道(事業中)    名古屋第二環状自動車道    其他の高速道路

( ) 書きのIC名称は仮称  
 ※用地買収等が順調な場合



# 中勢バイパス（鈴鹿（安塚）工区）

## 令和5年度 開通予定

### ～中勢バイパス（延長33.8km）が全線開通～

中勢バイパスは、三重県鈴鹿市北玉垣町から松阪市小津町に至る延長33.8kmのバイパスで、国道23号現道の交通渋滞の緩和、災害に強い道路機能の確保、地域産業の支援を目的に計画された道路です。

鈴鹿（安塚）工区（延長2.8km）が完成すれば、中勢バイパス全線が暫定2車線で開通します。

#### ■位置図

